

# 令和3年度 理科 中学入試問題について


## 【出題方針】

今年度は配点や時間が変更となりましたが、出題形式や傾向は例年通りです。小学校で習う四分野（生物・化学・物理・地学）からバランスよく出題します。「暗記力」だけを問うのではなく、読解力や計算力などの「考える力」を問う問題を心掛けています。

## 【問題構成とアドバイス】


### 1 小問集合

生物・化学・物理・地学・時事問題から各2問、合計10問出題します。

 基礎的な知識を確認するための問題で、5つの選択肢から正解を1つ選びます。「間違っているもの」を選ぶ場合もあるので注意してください。四分野の知識をバランスよく身につけ、理科的なニュースにも関心を持つようにしてください。


### 2 生物分野

動物・植物・生態系などの内容を、総合的な問題として出題します。

 基礎的な知識問題から、教科書で扱われている実験に関する考察問題まで、バランスよく出題しています。問題文をよく読み、問題の流れに沿って解答するようにしてください。


### 3 化学分野

身の回りのもの（固体・液体・気体）の性質と変化などを出題します。実験結果から見いだされる法則性が、世の中ではどのように活かされているのかを考察してもらいます。

 計算問題も多いので、もったいないミスが無いように注意してください。


### 4 物理分野

物にかかる力・電気・光と音の性質と法則などに関する実験について出題します。

 文章だけでなく表やグラフから現象を読み取り、規則性を見いだすことが大切です。問題の中から「考えるヒント」を見つけてください。

### 5 地学分野

大地・気象・宇宙などの内容を出題します。教科書で扱われている知識問題から、問題の中で与えられたヒントから考察する問題まで、幅広く出題します。

 分野横断の内容となっているものもあるので、全分野をまんべんなく勉強し、よく読みよく考えて解答するようにしてください。

## 【解答上の注意】

四分野とも「考える問題」は、問題文をしっかり読んで内容を理解すれば、解答できるようになっています。時間配分に気をつけて、落ち着いて取り組んでください。